

秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る指標の達成状況（令和2年度末、期間全体(H27~R2)）

【凡例】
 S:目標を達成 A:策定時より改善
 B:策定時から横ばい C:策定時より悪化
 -:実績把握不可のため評価対象外

基本目標① 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	備考
合計特殊出生率	1.32	1.26 (R1実績)	1.48		C	R2実績は今後データ集計により数値を把握する見込み

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27~R2)達成状況の説明	担当 部署
ア 支え あいによる 子ども・子育 て支援	全出生 数に占める第2 子出生 数の割合	37%	38.8%	40%		A	第1子保育料無償化事業（2018年(H30)～） 第2子以降保育料無償化等事業（2016年(H28)～） 3歳未満児定員拡大推進事業 保育士人材確保推進事業 妊娠期からの相談支援事業（秋田市版ネウボラ） 子ども福祉医療費給付事業 不妊治療費助成事業 ワーク・ライフ・バランス推進事業 など	【達成状況の説明・理由】 ・第2子および第3子以降が出生した世帯の第2子に対し保育料無償化事業を引き続き実施し、昨年度をやや上回る結果となった。 【課題、今後の対応】 ・引き続き第2子に対し保育料無償化事業を実施していくとともに、ホームページ等により事業の周知に努める。	【達成状況の説明・理由】 ・期間全体を通じ、徐々に目標値に近づいているものの、目標達成には至らなかった。理由として、第1子保育料無償化事業が平成30年度から実施されたことにより、全出生数に占める第1子の割合が維持され、その結果、第2子の割合は微増にとどまったものと考えられる。 【課題、今後の対応】 ・同左	子ども 未来部

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27~R2)達成状況の説明	担当 部署
イ 子ども の安全 安心の 確保	放課後 児童クラブ 登録児童 数	1,284人	1,885人	1,824人		S	放課後児童健全育成事業 放課後子ども教室推進事業	【達成状況の説明・理由】 ・令和元年度より2クラブ増の49クラブに運営を委託し、登録児童数は、163人増の1,885人となった。 【課題、今後の対応】 ・引き続きクラブの未設置学区の解消に向けて、社会福祉法人等に働き掛けを行う。	【達成状況の説明・理由】 ・ニーズが増加傾向にある中、施設整備費の補助事業を活用しながらクラブの新設を促進し、これに応える受皿を確保できたことから、目標達成となった。 【課題、今後の対応】 ・同左	子ども 未来部

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27～R2)達成状況の説明	担当 部署																								
ウ 若い世代の希望の実現	あきた結婚支援センター登録会員における婚姻数(秋田市民)	64人	32人	100人	<table border="1"> <caption>あきた結婚支援センター登録会員における婚姻数(秋田市民)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>64人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>65人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>64人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>61人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>47人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>58人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>32人</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	目標	H26	64人	100人	H27	65人	100人	H28	64人	100人	H29	61人	100人	H30	47人	100人	R1	58人	100人	R2	32人	100人	C	ふたりの出会い応援事業(シングルズカフェ秋田) 若者自立支援事業 あきた結婚支援センター運営経費負担金	<p>【達成状況の説明・理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、シングルズカフェ秋田のイベント開催を中止した。そのため、あきた結婚支援センターが令和2年9月よりオンライン婚活イベントを実施することに伴い、同月よりセンターへの会員登録料の補助要件と補助額を拡充し、HPやチラシ等による周知を行い、登録会員者数の増加を目指した。 ・しかし、登録会員者数が伸びなかったことやマッチングしたカップルにおいても直接対面する機会が持てなかったこと、加えて結婚自体の延期等があったことなどから、目標値には届かなかったものである。 <p>【課題、今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度より、センターの会員登録料補助にかかる要件をさらに拡充したほか、センターのHP上で当該補助事業の周知を図り、登録会員者数の増加につなげる。 	<p>【達成状況の説明・理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度はいわゆる令和婚の影響により一時、対前年度比では増加となったものの、全体としてはセンターの登録会員者数自体が減少傾向にあることに加え、新型コロナウイルスの影響により、婚姻数の増加につながらない状況にある。 <p>【課題、今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、登録会員者数やマッチング数の減少傾向が続くと考えられるため、センターへの登録方法やセンターが行うオンラインイベント等を広報やHP等で積極的に周知し、登録会員数および婚姻数の増加を図る。 	子ども未来部
年度	実績	目標																																
H26	64人	100人																																
H27	65人	100人																																
H28	64人	100人																																
H29	61人	100人																																
H30	47人	100人																																
R1	58人	100人																																
R2	32人	100人																																
エ 家族・地域の絆づくり	市が実施する絆づくり事業の認知度	44%	49.8%	60%	<table border="1"> <caption>市が実施する絆づくり事業の認知度</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>44.0%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>41.0%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>55.4%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>56.3%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>51.5%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>56.4%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>49.8%</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	目標	H26	44.0%	60%	H27	41.0%	60%	H28	55.4%	60%	H29	56.3%	60%	H30	51.5%	60%	R1	56.4%	60%	R2	49.8%	60%	A	家族・地域の絆づくり推進事業 かぞくぶっくぱっく事業	<p>【達成状況の説明・理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絆の映画上映会や絆のオンラインコンサート、市内小学校での絆の学習等の事業を実施するとともに、チラシ、ポスター、広報紙、ラジオなどの媒体を活用し、意識啓発を図ったが、前年度実績を下回ってしまった。 <p>【課題、今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、絆のオンラインコンサート、市内小学校での絆の学習等の事業を実施し、意識啓発を図っていく。 	<p>【達成状況の説明・理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絆づくり事業の実施、様々な媒体を活用して周知活動を行うことで、認知度の上昇に努めた。 <p>【課題、今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絆のオンラインコンサート、市内小学校での絆の学習等の事業を実施するとともに、新たに絆のリーフレットの作成やフォト展、SNSでの周知を行い、さらなる意識啓発を図る。 	市民生活部
年度	実績	目標																																
H26	44.0%	60%																																
H27	41.0%	60%																																
H28	55.4%	60%																																
H29	56.3%	60%																																
H30	51.5%	60%																																
R1	56.4%	60%																																
R2	49.8%	60%																																
オ 男女共生社会の確立	市の審議会、委員会などへの女性参画率	34.1%	31.7%	50%	<table border="1"> <caption>市の審議会、委員会などへの女性参画率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>34.1%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>33.6%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>32.6%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>32.3%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>32.1%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>31.3%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>31.7%</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	目標	H26	34.1%	50%	H27	33.6%	50%	H28	32.6%	50%	H29	32.3%	50%	H30	32.1%	50%	R1	31.3%	50%	R2	31.7%	50%	C	男女共生推進事業 女性活躍推進事業	<p>【達成状況の説明・理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会を所管する課所室に女性人材リストの充実を図り、女性委員登用の協力依頼を進めた。 ・令和2年度の審議会委員の委嘱状況は、123審議会、2,220人のうち女性委員が704人であり、女性参画率を50%にするためには、女性委員を1,110人に引き上げる必要がある。(△406人) <p>【課題、今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、審議会の改選期にあわせて、担当課所室に女性の登用を積極的に働きかける。 	<p>【達成状況の説明・理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの審議会において、委員の委嘱先の関係機関や団体の役職に女性がいない、専門分野に女性が少ない等の理由により、女性の登用率が約3割程度で推移している。 <p>【課題、今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、審議会の改選期にあわせて担当課所室に積極的に働きかけるとともに、女性参画率の実態について庁内に情報共有を図り、女性委員登用の意識啓発に努める。 	市民生活部
年度	実績	目標																																
H26	34.1%	50%																																
H27	33.6%	50%																																
H28	32.6%	50%																																
H29	32.3%	50%																																
H30	32.1%	50%																																
R1	31.3%	50%																																
R2	31.7%	50%																																

基本目標② 安定した雇用を創出する

数値目標	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	備考																																																																
市の施策による雇用創出数	0人	3,110人	3,150人		A	(単位：人) R2末実績3,110人の内訳は下記①～⑥の合計 ①創業支援補助金における新規雇用者数 37人 ②商工条例助成金交付実績に基づく新規雇用者 49人 ③シルバー人材センター新規入会者数 97人 ④アンダー40正社員化促進事業 193人 ⑤農業法人等への雇用就農(新規就農者) 6人 ⑥R1末実績 2,728人 <table border="1" style="float: right;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>47</td> <td>27</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>7</td> <td>37</td> <td>243</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>217</td> <td>253</td> <td>47</td> <td>104</td> <td>68</td> <td>49</td> <td>738</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>131</td> <td>141</td> <td>131</td> <td>127</td> <td>134</td> <td>97</td> <td>761</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td>252</td> <td>328</td> <td>268</td> <td>291</td> <td>193</td> <td>1,332</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td>5</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>他</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>395</td> <td>680</td> <td>570</td> <td>580</td> <td>503</td> <td>382</td> <td>3,110</td> </tr> </tbody> </table> ※他：企業成長支援事業における新規雇用者数		H27	H28	H29	H30	R1	R2	計	①	47	27	50	75	7	37	243	②	217	253	47	104	68	49	738	③	131	141	131	127	134	97	761	④		252	328	268	291	193	1,332	⑤		5	14	6	3	6	34	他		2					2	計	395	680	570	580	503	382	3,110
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	計																																																															
①	47	27	50	75	7	37	243																																																															
②	217	253	47	104	68	49	738																																																															
③	131	141	131	127	134	97	761																																																															
④		252	328	268	291	193	1,332																																																															
⑤		5	14	6	3	6	34																																																															
他		2					2																																																															
計	395	680	570	580	503	382	3,110																																																															

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27～R2)達成状況の説明	担当 部署
ア 正規雇用拡大等による雇用の質の向上	アンダー35正社員化促進事業における正規雇用転換者数	0人	848人 (H28～H30年度) 〈参考〉 1,207人 (H28～R2年度)	1,200人 (H28～H30年度)		A	アンダー40正社員化促進事業 なでしこ秋田・働く女性応援事業 奨学金返還助成事業 若年者就業支援事業 高齢者就業機会確保事業費補助金 資格取得助成事業	【達成状況の説明・理由】 ・平成30年度末までの正規雇用転換者は848人であったが、目標設定期間後の令和2年度においても、35歳未満の正規雇用転換者147人の申請を受け付け、5年間の通算では1,207人となった。 【課題、今後の対応】 ・人材確保に苦慮している企業では正規雇用の求人が増加しているものの、中途採用を中心に、依然として非正規雇用も多くみられることから、引き続き、市内企業に対して制度の利用を働きかけ、非正規雇用の正規転換を促進していく。	【達成状況の説明・理由】 ・目標年度である平成30年度末の実績は848人で、目標達成には至らなかったが、多くの企業で正規雇用転換の動きは広がっており、平成28年度から令和2年度までの5年間では1,207人となった。 ・なお、アンダー40該当者を含めると1,415人となる。 【課題、今後の対応】 ・同左	産業振興部

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27～R2)達成状況の説明	担当 部署
イ ビジネスチャンスをとらえた産業の創出	開業率(新規設立法人数/法人数)	3.9%	4.3% (H28～R2年度平均値)	4.5% (H28～R2年度平均値)		A	商店街空き店舗対策事業 秋田市農業ブランド確立事業 商工業振興奨励措置事業 中小企業金融対策事業 創業支援事業 6次産業化起業・事業拡大支援事業 農商工連携ビジネス支援事業など	【達成状況の説明・理由】 ・令和2年度は、13人に対して創業支援補助金を交付したほか、36人に対して創業資金の融資あっせんを行った。 ・こうした取組などを通じて、令和2年度の開業率は4.57%に増加し、5年間の平均では4.3%となった。 【課題、今後の対応】 ・市内の創業支援機関等と連携し、ビジネススタートアップ支援事業の実施や起業塾・創業支援セミナー等の開催を通じて、継続的に起業家の掘り起こしや育成を行うとともに、補助制度や融資制度など、起業支援策を更に充実させる。 ・また、チャレンジオフィスあきたを拠点として、創業支援体制の拡充を図る。	【達成状況の説明・理由】 ・年々増加傾向にあり、令和2年度開業率は4.57%に達したものの、期間平均として目標値を達成するまでには至らなかった。 【課題、今後の対応】 ・同左	産業振興部

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27～R2)達成状況の説明	担当 部局
ウ 力強い農業 経済活動の創出	認定農業者および 集落営農組織経営 体数	499経営体	594経営体	650経営体		A	担い手育成・確保事業 新規就農支援事業 一歩先行く農業法人 フォローアップ事業 園芸振興センター管理 運営経費 ネットワーク型園芸拋 点育成事業 園芸作物生産振興事業 園芸作物担い手育成事 業 園芸作物販売促進支援 事業	【達成状況の説明・理由】 ・ほ場整備事業の実施等に伴い法人化が進み、認定農業者が法人の構成員になったほか、高齢化に伴う認定農業者の離農等により、9経営体の減少となった。 【課題、今後の対応】 ・高齢化等に伴い、今後も認定農業者数の減少が進むと想定されることから、今後は地域の中心となる経営力のある農業法人や担い手の育成・確保に取り組む。	【達成状況の説明・理由】 ・増加傾向にあったが、ほ場整備事業の実施等に伴い法人化が進み、認定農業者が法人の構成員になったほか、高齢化に伴う認定農業者の離農等により、平成29年度をピークに減少に転じ、目標達成に至らなかった。 【課題、今後の対応】 ・同左	産業 振興 部
工 環境 関連産 業の育 成・創出	環境関 連産業 部門へ の進出 件数	1件	3件	2件 (R1)		S	地域ESCO事業（ス マートシティ省エネ事 業） 未来の暮らし創造事業 （ライフスタイル変革 事業）	【達成状況の説明・理由】 ・バイオマス関連企業、風力発電企業についての情報収集を行った。 【課題、今後の対応】 ・引き続き情報収集および情報提供を行う。	【達成状況の説明・理由】 ・再生可能エネルギー関係会社の立地を支援した。 【課題、今後の対応】 ・本市特有の資源を活用した再生可能エネルギー関連企業の情報収集および情報提供を行う。	環境 部

基本目標③ 秋田市への新しいひとの流れをつくる

数値目標	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	備考
市外への転出超過の改善(転入者-転出者)	-342人	76	-171人		S	<ul style="list-style-type: none"> 転入者数 8,534人(9,118人) 転出者数 8,458人(9,529人) ※()内は前年度数値

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27~R2)達成状況の説明	担当 部署
ア 移住の促進	本市への移住者数	4人	240人	80人		S	移住促進事業 地域おこし協力隊活用事業 空き家定住推進事業 多世帯同居・近居推進事業	【達成状況の説明・理由】 ・子育て世帯や若者をターゲットとした本市独自の移住費用の支援や移住相談八重洲センターでのきめ細かな相談対応などのこれまでの取組に加えて、新たにオンラインでの相談会や移住相談ツアーを開始するなど、全国どこからでも移住相談を行うことができる環境を整備し、移住の促進を図ったことで、121世帯240人の移住を実現した。 【課題、今後の対応】 ・コロナ禍を契機とした地方移住ニーズの高まりを好機と捉え、オンラインを活用した移住相談会や移住相談ツアー、SNS等による戦略的な情報発信、移住後の定住支援に加えて、テレワーカーの対象化など移住補助制度の拡充により、さらなる移住の促進に努めていく。	【達成状況の説明・理由】 ・子育て世帯や若者への移住費用の支援など、移住・定住につながる独自の施策に取り組むとともに、Aターンフェアなど首都圏等で実施する相談会への参加や大学への訪問、移住コーディネーターである地域おこし協力隊の活動などを通じて、秋田市暮らしの魅力を広く発信してきた。 ・加えて、令和元年度は、移住相談八重洲センターを新設し、専門相談員2名が仕事や暮らしの面できめ細かにサポートするなど、相談者の利便性向上と相談体制の充実を図った。 【課題、今後の対応】 ・同左	企画 財政部

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27~R2)達成状況の説明	担当 部署
イ 観光振興とセールス・プロモーションの強化	助成対象コンベンション参加人数	25,355人	498人	38,600人		C	秋田市観光振興協働交付金 秋田犬ふれあい事業 ホストタウン交流事業 観光プロモーション事業 秋田港大型クルーズ船誘致等事業 インバウンド誘客促進事業 北前船日本遺産推進事業 など	【達成状況の説明・理由】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたコンベンションがほぼ中止となるなど、目標には及ばない実績となった。 【課題、今後の対応】 ・旧秋田県民会館の解体以降、市内での大型コンベンションが開催できなかったことから、あきた芸術劇場オープンを見据えた誘致活動を続けてきており、感染症収束後の回復につながるよう誘致活動および情報収集を進めていく。	【達成状況の説明・理由】 ・目標策定以降、秋田県民会館の改築工事や新型コロナウイルス感染症の拡大など、本市でのコンベンション開催に大きく影響を受けており、目標達成には至らなかった。 【課題、今後の対応】 ・令和4年6月のあきた芸術劇場完成に向けて、コンベンションを予定する事務局や今後の開催地が決まっていない大型コンベンションなどの事務局などを中心に誘致活動を続けており、今後も情報収集と主催団体等への誘致活動を継続していく。	観光 文化 スポーツ 部

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27～R2)達成状況の説明	担当 部署	
ウ 芸術・文化によるまちおこし	文化施設の観覧者数	181,971人	57,940人	191,000人		C	県・市連携文化施設整備事業 旧県立美術館活用事業 文化創造プロジェクト推進経費	【達成状況の説明・理由】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の閉鎖を余儀なくされるなど、来館者数が目標を大きく下回ることとなった。 【課題、今後の対応】 ・文化施設間の連携によりコロナ禍における取組について検討するとともに、感染対策を講じながら各施設における企画展や各種講座等を進める。	【達成状況の説明・理由】 ・各施設において企画展、各種講座、ワークショップ等を実施するとともに、文化施設間の連携に努めたこと等により、来館者数は増加し、令和元年度の時点で目標を大きく上回る229千人となっていた。 ・しかし、令和元年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は施設の閉鎖を余儀なくされるなど、来館者数が目標を大きく下回ることとなった。 【課題、今後の対応】 ・文化施設間の連携によりコロナ禍における取組について検討するとともに、感染対策を講じながら各施設における企画展や各種講座等を進める。	観光文化スポーツ部	
エ トップスポーツへの支援	ホームスタジアム(アリーナ)での平均観客動員数	2,580人(NH)	1,658人(NH)	5,000人(NH)		C	スポーツホームタウン推進事業 新スタジアム調査・研究経費	【達成状況の説明・理由】 ・新型コロナウイルス対策として観客入場制限が設けられたため、各チームともに平均観客数が減少した。 ※NBについては、リーグ中止のため、実績なし。 【課題、今後の対応】 ・チーム成績に大きく左右されることなく安定して多くの観客を獲得し、市民の応援機運をより高めるための効果的な支援について、適宜チームとの協議を進めていく。	【達成状況の説明・理由】 ・秋田ノーザンハピネッツのB1復帰(2017-2018シーズン)やブラウブリッツ秋田のJ2昇格(2020シーズン)、秋田ノーザンブレッツの活躍などにより各チームの平均観客数は概ね増加傾向にあったが、令和2年度シーズンは新型コロナウイルスの感染拡大により観客数が減少した。 【課題、今後の対応】 ・チーム成績に大きく左右されることなく安定して多くの観客を獲得し、市民の応援機運をより高めるための効果的な支援について、適宜チームとの協議を進めていく。	観光文化スポーツ部	
		1,773人(BB)	1,298人(BB)	5,000人(BB)							
		960人(NB)	-人(NB)	2,000人(NB)							

基本目標④ 高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める

数値目標	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	備考
要介護認定を受けていない高齢者 (第1号被保険者) の割合	84.4%	85.2%	85.0%		S	$100 - B/A \times 100$ A 第1号被保険者数 96,382人 B 要介護認定者数 14,281人 ※R2.9.30現在

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27～R2)達成状況の説明	担当 部署
ア 生涯を通じた健康づくりと生きがいの推進	がんの75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)	87.3	74.1 (R1実績) ※R2実績値はR4.2月頃にデータ集計により数値を把握する見込	78.6 (R1)		S	がん検診等事業 健康づくり推進事業 歩くべあきた健康づくり事業 歩くべあきた高齢者健康づくり事業	【達成状況の説明・理由】 ・「歩くべあきた健康づくり事業」では、身体活動量の増加、定着化を図るため、チームの仲間とともに、歩数に加え運動強度の増加に取り組んだ。 ・また、がん検診については、新型コロナウイルスの影響により、実施しない検診があったものの、受診率向上のため、健診ガイドを全戸配布したほか、平成28年度から導入している市独自の自己負担割引制度を継続実施した。	【達成状況の説明・理由】 ・平成27年度から継続実施している「歩くべあきた健康づくり事業」において、身体活動量の増加、定着化を図るため、チームの仲間とともに、歩数に加え運動強度の増加に取り組んだ。 ・また、がん検診については、受診率向上のため、健診ガイドを全戸配布しているほか、平成28年度から市独自の自己負担割引制度を導入し、継続実施している。	保健所

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27～R2)達成状況の説明	担当 部署
イ 高齢者の多様な能力の活用	日常的にボランティア活動を行っている高齢者数	826人	2,755	1,248人		S	介護支援ボランティア制度運営経費 傾聴ボランティア養成事業 エイジフレンドリーシティ推進事業 エイジフレンドリーシティ普及啓発事業	【達成状況の説明・理由】 ・関係団体との連携により各種ボランティア活動を支援したほか、受け入れ機関の拡充を図るなど、ボランティア活動を促進した結果、実績値の向上に結びついた。 (内訳) 介護支援ボランティア登録者 449人 ファミリーサポートセンター登録者162人 子育てボランティア登録者 35人 ボランティアセンター登録者 2,109人	【達成状況の説明・理由】 ・関係団体との連携により各種ボランティア活動を支援したほか、受け入れ機関の拡充を図るなど、ボランティア活動を促進した結果、実績値の向上に結びついた。 なお、ボランティアセンターの登録者数について、令和元年度からセンターに登録している団体の会員を集計対象に加えたことから、登録者数が大幅に増加した。	福祉保健部

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27～R2)達成状況の説明	担当 部署
ウ バリアフリー化の推進	都市公園のバリアフリー化率	57%	70.2%	66% (R1)		S	エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業 都市公園バリアフリー化事業	【達成状況の説明・理由】 ・広面小沼街区公園ほか4公園において、バリアフリー化整備を実施した。 【課題、今後の対応】 ・約3割の公園でバリアフリー化されていないことから、今後も計画的にバリアフリー化整備を進めていく。	【達成状況の説明・理由】 ・期間全体において29箇所の公園について、バリアフリー化整備を実施した。 【課題、今後の対応】 ・目標(R2目標66%)は達成したものの、約3割の公園でバリアフリー化されていないことから、今後も計画的にバリアフリー化整備を進めていく。	建設部
エ 高齢者の移動手段の確保	高齢者コインバス資格証明書交付者数	39,230人	60,875人	48,000人 (R1)		S	高齢者コインバス事業 バス交通総合改善事業	【達成状況の説明・理由】 ・ホームページや広報あきた等で事業周知を図ったほか、介護保険資格証の送付の際に事業の案内チラシを同封し、満65歳となる市民に情報提供した。 【課題、今後の対応】 ・引き続きホームページや広報あきた等により、コインバス事業について周知し、利用促進を図る。	【達成状況の説明・理由】 ・社会参加の促進を図るため、平成29年度に対象年齢の引き下げ(68歳から65歳へ)を実施した。 ・期間を通じて、ホームページや広報あきた等で事業周知を図ったほか、介護保険資格証の送付の際に事業の案内チラシを同封し、市民に情報提供した。 【課題、今後の対応】 ・引き続きホームページや広報あきた等により、コインバス事業について周知し、利用促進を図る。	福祉保健部
オ 多様な生活支援サービスが利用できる地域づくりの推進	認知症サポーター数	9,539人	26,057人	30,000人		A	地域包括支援センター運営事業 高齢者生活支援体制整備事業 高齢者生活支援情報提供事業 認知症対策推進事業	【達成状況の説明・理由】 ・ホームページや広報あきたにより広く周知活動を行ったほか、秋田市内の小中学校へ認知症地域支援推進員を通して、事業のPRを行ったものの、新型コロナウイルスの影響により、養成講座の開催回数が減り、サポーター数が伸び悩んだ。 【課題、今後の対応】 ・引き続き、ホームページや広報あきたにより、周知活動を行うほか、町内会や認知症高齢者と関わる機会が多い企業に加え、小中学校、高校など若年層に対しても開催を働きかける。また、オンライン方式による講座の開催も視野に入れ、若年層の取り込みに繋げていく。	【達成状況の説明・理由】 ・ホームページや広報あきたにより広く周知活動を行ったほか、秋田市内の小中学校へ認知症地域支援推進員を通して、事業のPRを行った。 【課題、今後の対応】 ・引き続き、ホームページや広報あきたにより、周知活動を行うほか、町内会や認知症高齢者と関わる機会が多い企業に加え、小中学校、高校など若年層に対しても開催を働きかける。 ・また、オンライン方式による講座の開催も視野に入れ、若年層の取り込みに繋げていく。	福祉保健部

基本目標⑤ 持続可能な地域をつくり、安全安心な暮らしを守る

数値目標	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	備考
本市に住み続けたい人の割合 *しあわせづくり市民意識調査による(「事情が許せば、住み続けたい」を含む) *下段は「無回答」を除外した場合の数値(令和元年度の調査から当該方式で分析を実施)	74.9% [76.2%]	73.1% [74.4%] (R1)	80.0% (R1)		C	しあわせづくり市民意識調査は令和元年度に実施しており、次回実施は令和6年度を予定している。 ※R1時点の状況 「秋田市しあわせづくり市民意識調査IV」の結果をみると、本市に住み続けたい人の割合は、74.9%[76.2%]から73.1%[74.4%]と幾分低下したため、「秋田市に住み続けるために必要なこと」に挙げられている「雇用の場の確保」、「若者にとって魅力のあるまちづくり」、「非正規雇用など不安定な雇用の改善や収入の増加」などについて、引き続き取り組む必要がある。

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27~R2)達成状況の説明	担当 部署
ア 秩序ある都市環境の形成	第2期秋田市中心市街地活性化基本計画の策定	未策定	策定済み	—		S	中心市街地活性化基本計画推進経費 中心市街地優良建築物等整備事業費補助金 住宅リフォーム支援事業	【達成状況の説明・理由】 ・平成28年度に策定した第2期秋田市中心市街地活性化基本計画の第5回変更(令和3年3月12日付け)について内閣総理大臣の認定を受けた。 【課題、今後の対応】 ・掲載事業の確実な実施を目指して進捗管理を行うとともに、毎年フォローアップを実施する。	【達成状況の説明・理由】 ・平成28年度に策定した第2期秋田市中心市街地活性化基本計画が内閣総理大臣の認定を受け(平成29年3月24日付け)、その後、事業の進捗等に応じて5回の変更を行った。 【課題、今後の対応】 ・掲載事業の確実な実施を目指して進捗管理を行うとともに、毎年フォローアップを実施する。	都市整備部

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27~R2)達成状況の説明	担当 部署
イ 公共施設の全体最適化	公共施設等総合管理計画の策定	未策定	策定済み	—		S	公共施設等マネジメント推進経費	【達成状況の説明・理由】 ・平成29年3月に秋田市公共施設等総合管理計画を策定し、目標を28年度で達成した。 【課題、今後の対応】 ・計画期間中間年度の見直しを令和3年度に実施する。	【達成状況の説明・理由】 ・策定された総合管理計画(計画期間:平成29年度~令和8年度)に基づき、計画的な維持保全、効率的な施設運営など、公共施設マネジメントの取組を進めた。 【課題、今後の対応】 ・総合管理計画について、保有状況の変化を踏まえた時点修正などを内容とした、計画期間中間年度における見直しを令和3年度に実施する。	総務部

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27~R2)達成状況の説明	担当 部署
ウ 交通機能の充実	年間バス利用者数	7,867,395人	6,018,903人	7,868,000人		C	泉・外旭川新駅(仮称)等整備事業 地方バス路線維持対策経費	【達成状況の説明・理由】 ・泉外旭川駅の開業に合わせ、マイタウン・バス北部線の外旭川笹岡循環コースの運行を開始したほか、広報あきたでのバス利用の呼びかけや、マイタウン・バス沿線住民へのPRチラシ配布により利用促進を図ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や観光客の減少により、令和元年度末よりも大きく減少した。 【課題、今後の対応】 ・交通系ICカードの導入やICTを活用した運行情報の提供など、公共交通の利用促進を図るための利便性向上に向けた取組などについて、交通事業者等と共に検討していく。	【達成状況の説明・理由】 ・人口減少などにより、バス利用者は減少傾向にあり、利用者数が劇的に改善する要素が見込めない状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大きく減少したため達成できなかった。 【課題、今後の対応】 ・将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの実現を図るため、鉄道、バス、タクシーの連携による公共交通網の再編を検討していくとともに、交通系ICカードの導入やICTを活用したリアルタイムな運行情報の提供、小型車両での運行や新たな料金制度など、公共交通の利用促進を図るための利便性向上に向けた取組などについて、交通事業者等と共に検討していく。	都市整備部

施策	KPI	H26実績 (策定時)	R2実績	R2目標	達成状況	評価	総合戦略に位置付けた 主な取組	令和2年度達成状況の説明	期間全体(H27～R2)達成状況の説明	担当 部署
工 安全 な生活 の実現	自主防 災組織 などによる防災訓 練参加 者数	6,013人	1,207人	6,850人		C	老朽危険空き家等対策 経費 自主防災組織育成事業	【達成状況の説明・理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、防災訓練等の開催が少なかった。 【課題、今後の対応】 ・新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、引き続き避難訓練等への取組の働きかけを継続する。	【達成状況の説明・理由】 ・概ね避難訓練や防災訓練に取り組んだ自主防災組織や町内会が多かったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、開催が少なかった。 【課題、今後の対応】 ・新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、引き続き、避難訓練等への取組の働きかけを継続する。	総務部
オ 市民 の主体的な活 動の推 進	市民活 動団体 による市 民交流 サロン内 での活 動件数	656件	511件	700件		C	地域まちづくり推進事 業 市民協働・市民活動支 援事業 地域支援事業	【達成状況の説明・理由】 ・市民交流サロンでの活動件数は、市民交流サロンを会場としたイベントや市民活動アドバイザーによる勉強会を実施するなど、施設や市民活動アドバイザーの周知および新規利用者の増加に努めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響などにより目標達成には至らなかった。 【課題、今後の対応】 ・施設の利用制限等の対応により、施設内での活動やイベントおよび講座の開催規模の縮小となるが、各種助成金等の情報提供の強化を図るなど、市民活動の支援に努める。	【達成状況の説明・理由】 ・目標達成に向け努めてきたものの、平成28年度で7つの市民サービスセンターすべてが揃い、より身近な場所で活動を行うことができるため利用者が分散されてきていること、自身の活動拠点を設けるなど組織自体が自立してきていること、さらに新型コロナウイルス感染症の影響により、目標達成には至らなかった。 【課題、今後の対応】 ・引き続き、市民交流サロンや市民活動アドバイザーの周知および新規利用者の増加に努めていく。さらに、地域に出向いての市民活動実践講座を開催し、市民交流サロンをより効果的にPRすることで、市民活動に参加しやすい環境づくりに努める。	市民生活部
カ 新 (省)エネ ルギー 設備の 導入拡 大	住宅用 太陽光 発電シ ステム設 置延べ 件数	1,334件	2,663件	2,414件		S	再生可能エネルギー導 入支援事 業（スマ ートシ ティ創 エネ事 業） 再生可能 エネル ギー発 電事業	【達成状況の説明・理由】 ・令和2年度も太陽光発電設備導入のニーズが一定以上あり、本市においても補助を継続したことにより、令和2年12月末時点で2,663件となっている。 【課題、今後の対応】 ・今後も市民や事業者への周知を一層図るなどして、導入の促進を行っていく。	【達成状況の説明・理由】 ・太陽光発電設備導入のニーズが期間を通して一定以上あり、本市においても補助を継続したことにより、目標件数を達成し、導入件数も増加している。 【課題、今後の対応】 ・今後も市民や事業者への周知を一層図るなどして、導入の促進を行っていく。	環境部